

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念を掲げ、その理念に基き五項目の基本方針を定め実践している。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設内に理念や基本方針を掲示し、日々の暮らしやケアプランに反映されるように努めている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	近況報告書や夕照苑便りの中に記載し、理解して頂いている。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶を交わしたり、自治会を通じ夕照苑便りを回覧してもらい施設を知ってもらうようにしている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し地域活動(草刈・地藏盆・お楽しみ会)等に参加している。近隣の園児と一緒にプランターの花の水遣りをおこなっている。	○	積極的に地域行事に参加する。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	4月に認知症専門医による講演会を主催し地域の人に認知症への理解を深めてもらった。	○	介護相談など地域の人が気楽に立ち寄れるような工夫
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が評価の意義を理解し、前年度の評価の際にあった問題点課題点はすぐに職員全員で話し合い改善するように努めている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の際は、現状の報告・今後の取り組み目標などを話し合い、その場で出された意見を参考にサービスの質の向上に努めている。	○	家族等の参加が少ない為、日程調節を含め多くの家族に参加していただけるように検討していきたい。
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には、地域包括センターの担当者に出席してもらい意見を聞くようにしている。問題がある場合は、市の福祉課に相談するようにしている。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、職員会議で報告を行い職員全員で勉強するようにしている。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止についての勉強会に参加し、報告を行い全職員虐待防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者がタ照苑の利用者・家族が理解できるように一つ一つ説明し疑問に答え理解・納得を図っている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の話を常に傾聴し、日常生活の中の行動からも意見・不満・苦情を見つけ出し対応するようにしている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月近況報告で担当者から家族等に利用者の暮らしぶりを報告している。急な体調変化等があった場合はその都度、家族等に電話連絡している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に家族の意見を聞くようにしている。玄関に苦情箱を設置している。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の会議の際に、職員個人の意見を聞くようにし、日頃の会話の中でも職員の意見に耳を傾け反映するように努めている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要に応じ対応するように心がけている。夜間の緊急時に対応するよう常に待機者を2名設けている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	一年以上、職員の異動はなく、利用者・家族とも馴染みの関係を築いている。		
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定例会議や勤務時間内でその都度指導を行っている。研修会に積極的に参加し、報告書を作成、会議で発表し職員全員が知識を共有できるようにしている。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会を通じ知り合った同業者や顔なじみの同業者との交流を図り、情報収集・サービスの質の向上に努めている。又、他府県のグループホームを見学しサービス向上に努めている。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会などを開き親睦を図っており、職員の意見に耳を傾けている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	共に働き気軽に悩みを打ち明けられる職場環境を整え、研修や資格取得を奨励し、必要あればシフトの調整を行っている。健康診断を年一回実施し心身の健康を保ち、向上心を持って働けるように努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前に直接、利用者本人や家族等と面会し、話し合い希望や生活状況・心身の状態等を把握するように努めている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の状況を知る為に会話の機会を多く持つ様に努力している。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容をよく理解し、出来ることは直に対応し、出来ないことに対しても何らかの提案を行うように努めている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	前もって職員が面会し顔なじみの関係をつくり、入所前に昼食を一緒に摂る等、馴染めるように工夫している。入所時は家族が付き添い本人が暮らしていた環境に近い居室に整備し、家族写真を貼るなど安心感を与えるように工夫している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴に注目し、得意な事を教えて貰ったり、その人の得意な家事と一緒にするようにしている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月の近況報告を渡し、面会の際にも職員が声を掛け、暮らしぶりを伝えたり、困ったことを相談している。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築けるように支援している	行事への家族の参加を呼びかけ、ふれあいの場を設けるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	親戚の人や知人の訪問を受け入れ、個人 の部屋でくつろいでもらえるように支援 している。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	気の合う利用者同士で散歩に出かけたり、利用者同士がお互いの部屋を行き来 する際は、職員が間に入らず近くで見守 るようにしている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期の入院などで退所された利用者をお 見舞いに行ったり。必要とあれば利用者 や家族の相談に乗っている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	直接個人的に話をしたり、日々の暮らしの様子をよく観察し、思いを知るようになっている。解らない時はときは家族に相談している。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者との会話の中や家族の訪問時に会話し把握するように努めている又、昔話の中からも情報を得ている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人記録や申し送りなどで暮らしぶりや心身の状況を把握し、出来ないことよりも出来ることに注目するように努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃の関わりのなかで本人の思いを知り、それを会議で報告し、職員全員で検討し個人のケアプラン作成に反映させている。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常は3ヵ月毎に介護計画会議で見直し、心身の状態に変化がある場合は、直ちにプランを見直し現状に沿ったものを作成するようにしている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに添って個人の介護記録を取り、日々の様子や状態を知り、無理の無い現状に即したプランを作成している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	定期健診の受診時の送迎など対応している。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の消防署員による消防訓練を行っている。民生委員との意見交換を行っている。知的障害者授産施設みずほととの交流を行っており、ボラバイトとして掃除や見守りをお願いしている。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をして	本人の状況に応じて、地域包括センターや市の福祉課と相談したり、カラオケ教室に通っている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターの介護相談員に運営推進会議に参加してもらい、アドバイスをもらっている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域の開業医と良好な関係を保ち定期的に受診している。必要に応じ家族に連絡をとり受診し、その結果は家族に報告している。又、家族の特別な希望がある場合は外出の用意等の援助をしている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	希望により瀬田川病院を受診し、その際職員が医師に相談して支援している。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康状態を医師に報告し、医師の指導の下に健康管理を行うようにしている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医師の診断と家族の希望を聞き、施設での対応が可能になればなるべく早く退院できるように受け入れ態勢を整えている。馴染みの関係を途切れさせないように見舞いに行くようにし回復状況等の情報交換に努めている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族との話し合いを通じ、意向を確認し書面に残すようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の意向を踏まえ、かかりつけ医との連絡を密に取り、出来ること・出来ないことを見極めて利用者本人や家族と相談しながら取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	希望により住み替えが行われる際には、アセスメント・ケアプラン・介護サマリーを事前に渡し情報交換するようにしている。		
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	声かけに注意し、申し送りの際も利用者に聞こえないように行っている。個人記録は、直接利用者の目に触れない場所に置くようにしている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	無理強いせず、本人が意思決定出来るような声掛けを行っている。意思表示が困難な人は、表情や行動で読み取るようにしている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、特に時間を決めておらず。起床・就寝時間がかなり遅くならない限り本人の自由にしてもらっている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	能力に応じて衣類を選んで更衣している。季節に合わない服を着ている際には、プライドを傷つけないようさりげなくアドバイスするようにしている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	能力に応じ食事の用意・盛り付け・後片付けを職員と一緒にしている。食材を見せどのように調理したらよいか聞いている。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物等は、本人の嗜好に合わせて提供している。お酒・タバコに関してはかかりつけ医と相談し家族の意向も踏まえて対応している。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の間隔をチェックし、トイレ誘導することで日中のオムツの使用をゼロにし、尿意が無くても尿パットで対応している。排便状況を把握しトイレ誘導や服薬調整している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者に声かけし、希望を確認してバイタルに問題が無ければ、入浴できるように対応している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼寝や休息は、自由にしてもらっている。訴えない利用者は、その日の体調や状況に合わせて休息してもらおうよう注意している。就寝前に足浴をしよく眠れるように工夫している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の生活歴や残存機能を活かし、得意な事を職員と一緒にするように声かけしている。又、個人の希望でカラオケ教室などにも参加している。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	多額の金銭は所持しないようにして貰っているが、希望があれば職員が同行し支払いなどは自分で出来るように支援している。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や気分転換の為、散歩したり、外出する機会を多く持つようにしている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節行事の一つとして外出したり、本人の希望があれば、プランを立て希望に添えるように支援している。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に家族や親戚、友人に電話したり、手紙をやり取りされており、切手の購入や、手紙の投函など支援している。年賀状は全員が書かれその際は職員が支援している。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は特に決めていない。個人の居室でゆっくり過ごしてもらおうようにしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会に参加し、知識の習得に努め、ケアプラン作成時や日々の介護の中で、身体拘束が行われていないかチェックしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に鍵はかかっておらず、センサーを使用しているが、外出を止めるのではなく、声かけや同行する等の対応を行っている。近所や近くの交番に声かけて貰うようにしている。	○	個人の居室に別の利用者が入り込まないような工夫。
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の居場所を把握するように努めている。居室で休んでいる場合でも、声を掛けるなどして体調の変化や安全に注意している。夜間は2時間ごとに巡回している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人にとって危険であるかないかを話し合い、常に注意をはらい見守るようにしている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個人の事故を予測し未然に防ぐように努めている。ヒアリーハットの記録により職員全員が事故要因を考え対応できるようにしている。救急救命講習を受け不測の事態に備えている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	施設独自で作成した安全介護マニュアルに基き、発生時の連絡・対処方法を身につけるようにしている。救急救命講習を受け職員ほぼ全員が救急法救急員の認定資格を持つようにしている。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	大津市消防署の指導のもと防災訓練の実施を行っている。災害時には近隣の協力を得られるように働きかけている。迅速な対応が出来るように災害対策マニュアルを作成している。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	自由な暮らしの中で起こりうるリスクについて家族への説明を行い理解を得られるように努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、朝食後に体温・血圧・脈拍を測定し、食欲・顔色・排便等の様子をよく観察し、少しでも変化があるときは、記録し申し送り、バイタルチェックを行い状況により医師の診察を受けられるよう対応している。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用している薬のリストを投薬箱に添付し、副作用・用法は個人記録に添付し職員全員が見れるようにしている。服薬時は直接手渡し飲み込むまで確認している。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための食事の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、ヨーグルトを取り腸内環境を整え、適度な運動や水分補給、食物繊維を多く含む食品を摂るように心がけている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後、洗面所に行く機会をつくり口腔ケアを行っている。就寝前には義歯の洗浄・口腔内をブラッシングするようにしている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個人の運動量・既往症・好き嫌いを考慮し、1日1600kカロリーを目安に提供している。栄養士に定期的に献立表を見せ栄養のバランスのチェックをしてもらっている。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを作成し、職員全員で学習し予防対策に努め、利用者だけでなく職員もインフルエンザの予防接種をしている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾・まな板の除菌、職員の毎月の検便、調理前の手洗い・アルコール除菌をし、作り置きはしない。国内産の野菜や肉・魚を購入するように心がけている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にベンチを置き、建物の周辺にプランターを設置し、季節の花を植え親しみやすい雰囲気づくりをしている。環境整備のボランティアさんに来てもらっている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた模様替えや、玄関には利用者が靴をはきやすいようにベンチを設置している。オープンキッチンで対面式になっており食事の支度や後片付けと一緒に出来るようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者同士でテーブルを囲むようにし、空きスペースを利用してテーブルとイスを置きつろいでもらえるようにしている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた鏡台を置いたり、家族の写真を貼ったり、亡夫の位牌や写真を置き、安心して過ごせるよう配慮している。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を充分に行い、外気と温度差がある場合は利用者の様子を見ながら調節している。湿度にも注意を払い冬場は加湿器を使用している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりをつけ、通路には障害物を置かないようにしている。浴槽・浴室内は、個人の能力に応じて補助イスや手すりを使用している。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その人に応じた納得のいく説明をしている。混乱や失敗が生じた場合は、職員間で話し合い不安を取り除くように努めている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にベンチやイスを置き、外気浴をしたり、建物周辺にプランターを置き、水遣りや野菜の収穫、草取りが出来るようにしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の好きなことやりたい事を見極め、ご家族と相談しながら、趣味の教室に通って外部の人と楽しく交流できるよう支援している。
 国産の食材にこだわり栄養面だけでなく、季節を感じられる物を美味しく食べてもらえるようにしています。
 地域の知的障害者授産施設の作業生を受け入れ、掃除をしてもらったり見守りをしてもらうなど、交流を図っています。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

施設独自の理念・基本方針を職員全員が理解・実践し、家族や地域とかかわり理解・協力を得られるようにしています。地域との支えあいによって利用者がより豊かで穏やかな暮らしをおくれるように支援しています。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

気軽に利用者・家族等が職員と話し合える雰囲気をつくり、住み慣れた環境づくりをすることで信頼関係を築いていくよう努めています。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

個人記録をもとに利用者ひとりひとりの心身の状態を把握し、生活歴や出来ることに注目しケアマネージャーを中心に職員全員でケアプランを考え、個人の現状に即した柔軟な対応が出来るように記録や情報の共有、プランの見直しを行っている。他のサービス期間の利用を提案したり、かかりつけ医の支援や専門医の診察を受けられるように支援しています。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

利用者の自己決定については可能な限り支援しています。プライバシーを尊重し、個人の生活のペースに合わせ柔軟に対応しています。嗜好については、かかりつけ医や家族等と相談し対応しています。日々のバイタルチェックや随時居場所の確認を行い心身の安全に注意しつつ自由に行動できるように見守っています。食材や食事なども工夫し安全で美味しく体に良いものを提供するよう心がけています。ボランティアや地域の人々の意見も取り入れ心地よい暮らしを続けるための環境を整えています。

V サービスの成果に関する項目について

前回の評価の反省点や問題点を職員全員で話し合い改善してきました。地域との交流も増え、ご家族との関係も良好であり、介護の質も向上したと考えています。更なるレベルアップを目指し研修に参加したり、他施設の見学をしたいと考えております。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 年 月 日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
8(5)	1	運営推進会議への家族 の参加	平成20年9月 ～平成21年4 月	日程・時間の調整		
5(3)	2	地域の人が気楽に立ち寄 れる工夫	同上	介護相談日をつくる		
19(1 0)	3	職員の知識の向上	同上	研修参加・勉強会実 施		